

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	スポーツコミュニティの形成促進		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	スポーツ振興課長 嶋倉 剛	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	スポーツ振興課				
会計区分	一般会計		施策名	XII-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ振興法第3条 国は、(省略)ひろく国民があらゆる機会とあらゆる場所において自主的にその適正及び健康状態に応じてスポーツをすることができるような諸条件の整備に努めなければならない。		関係する計画、通知等	スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成22年8月に策定された「スポーツ立国戦略」を踏まえ、地域住民がトップアスリートと身近に接すること等により、子どもから高齢者までがスポーツに興味関心を持ち、スポーツへの参加意欲を高めるとともに、競技力の向上に資するよう、スポーツを通じて新しい公共を担うコミュニティの形成を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	以下の取組を通じて、新しい公共を担うコミュニティの形成を促進する。 ○拠点クラブに配置された引退後のトップアスリートなどの優れた指導者を活用することによる、複数の総合型クラブなどの地域のスポーツクラブ等を対象にした巡回指導の実施。 ○プロジェクトリーダーによる巡回指導等の調整及び地域の課題解決への取組の実施。 ○小学校体育活動コーディネーターの派遣による体育活動の支援。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	571.0	822.5	
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	571.0	822.5	
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(32年度)
	スポーツ実施率の向上 (体力・スポーツに関する世論調査)内閣府		成果実績	%	-	-	-	65
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	トップアスリートを活用する拠点クラブの数		活動実績(当初見込み)	箇所	-	-	-	(9)
	トップアスリートを活用しないクラブの数			箇所	-	-	-	(10)
単位当たりコスト	35,154,000(円/トップアスリートを活用する拠点クラブ)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:平成23年度執行予定額(316.4百万円) Y:平成23年度トップアスリートを活用する拠点クラブの数(9)				
	25,382,000(円/ トップアスリートを活用しないクラブ)			単位当たりコスト=X/Y X:平成23年度執行予定額(253.8百万円) Y:平成23年度トップアスリートを活用しないクラブの数(10)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2百万円	0.3百万円	箇所数の一部増				
	職員旅費	0.3百万円	0.3百万円					
	委員等旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	庁費	0.1百万円	0.1百万円					
	スポーツ振興事業委託費	570.2百万円	821.6百万円					
	計	571.0百万円	822.5百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・計画的に予算執行ができるように、スケジュール管理を徹底する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
571.0百万円

・諸謝金 0.2百万円
・職員旅費 0.3百万円
・委員等旅費 0.2百万円
・庁費 0.1百万円

を含む

子どもから高齢者までがスポーツに興味関心を持ち、スポーツへの参加意欲を高めるとともに、競技力の向上に資するよう、スポーツを通じて新しい公共を担うコミュニティの形成を促進する。

【公募・委託】

【公募・委託】

A. 総合型地域スポーツクラブ等
(全9団体)
316.4百万円

B. 総合型地域スポーツクラブ等
(全10団体)
253.8百万円

・トップアスリートの活用による地域スポーツの支援
・プロジェクトリーダーによる巡回指導等の調整と地域の課題解決への取組の実践
・小学校体育活動コーディネーターの派遣による支援

・プロジェクトリーダーによる巡回指導等の調整と地域の課題解決への取組の実践
・小学校体育活動コーディネーターの派遣による支援

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.総合型地域スポーツクラブ等(全9団体)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	トップアスリート巡回指導謝金等	30.4			
旅費	トップアスリート巡回指導旅費等	2.7			
印刷製本費	スポーツ教室開催案内等	1.3			
雑役務費	会場借料等	0.7			
その他	事務用品費等	0.1			
計		35.2	計		0
B.総合型地域スポーツクラブ等(全10団体)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	指導者謝金等	24.3			
旅費	指導者旅費等	0.8			
雑役務費	会場借料等	0.2			
その他	事務用品費等	0.1			
計		25.4	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)